

## 学校の様子

明治末期から大正にかけて学校施設の拡充が行われたのは、日本の経済機構の形成につれて、精道村がいち早く阪神間の近郊地として発展を示しはじめた時期であり、児童数も急速に増加したためです。

日露戦争前後の経済の発展は、精道村内の教育熱の高まりとともに、精道小校内に実業教育の場として明治36年4月に裁縫学校が、幼児教育の場として44年10月に村立幼稚園が設置されました。

なお私立幼稚園も大正11年に愛光幼稚園、甲陽幼稚園が設けられました。

児童数も急速に増加し、明治5年の児童数32人が42年には551人に、大正8年には1,238人に増加し、教育費も、村費中年々高い比率を占めるようになりました。



大正3年ごろの小学校の先生 精道小学校



大正5年ごろの精道小学校 村立精道小学校の開校は明治19年。

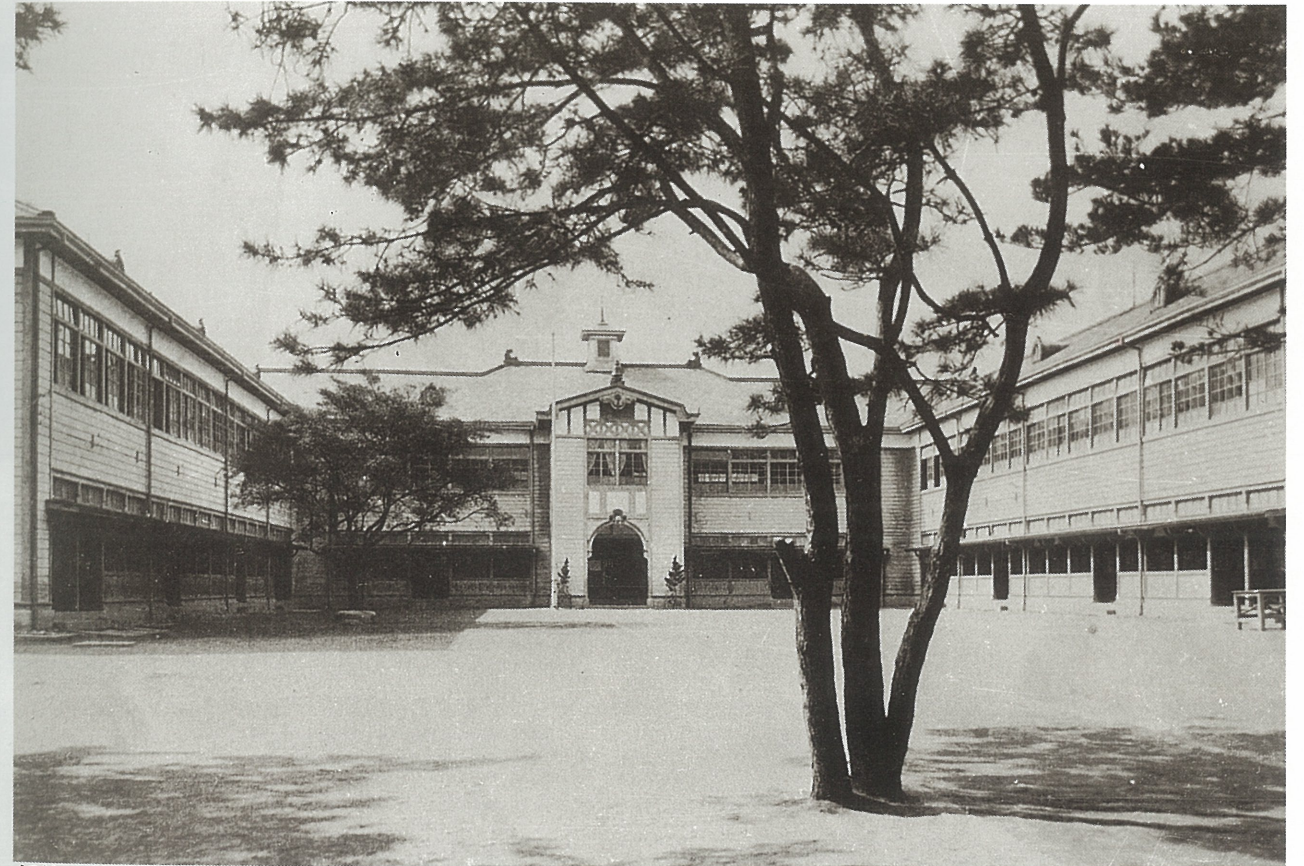
## 精道小学校

明治19年、小学校令が公布され、開森橋西詰にあった芦屋小学校は、菟原郡第9番学区精道小学校と改称され、現在地に新築移転しました。

校名の精道は、西宮の漢学者豊田政苗氏が「養精修道」の語から撰じたものであるといえます。



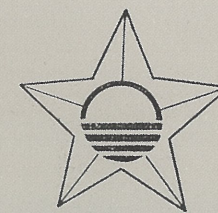
精道小学校開校当時の校舎 中央が明治19年に建てられた最初の校舎。



新築の精道小学校校舎 大正8年建築



初代校長



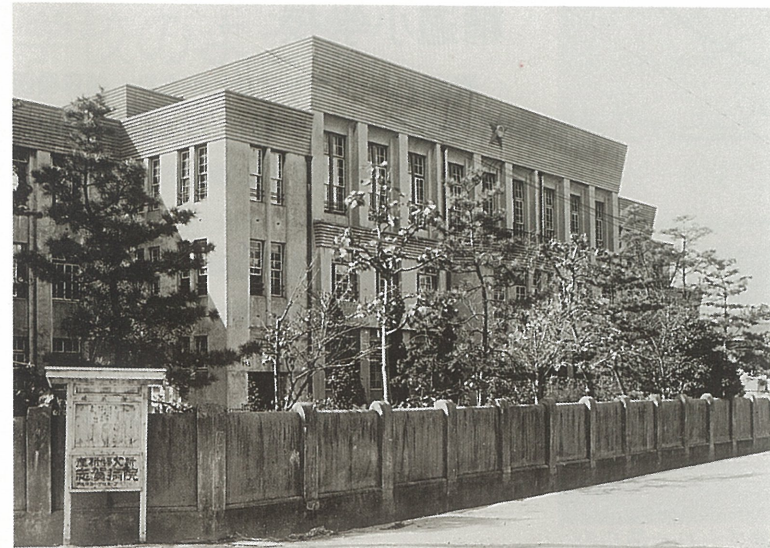
大正14年制定の校章



昭和3年制定の校章



戦前校長室にかかっていた校名の由来となった「養精修道」の書。



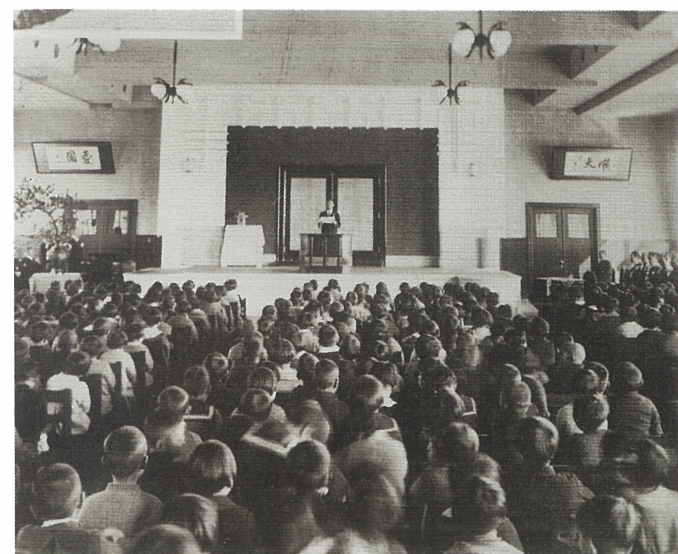
宮川小学校 昭和2年開校(写真は昭和初期、現在は県立芦屋高校校舎)



岩園小学校 学園作業に出かける児童(昭和15年)。



岩園小学校校舎全景 昭和9年開校(写真は18年ごろ)



山手小学校 開校式(昭和9年1月6日)



山手小学校 軍艦の司令塔を形どったといわれる塔屋。

## 幼稚園

幼児教育機関として明治44年10月、精道村立幼稚園が設置され、校舎施設の拡充が相つぎました。すでに大正13年には、鉄筋コンクリート校舎に教室が新築されました。

また私立幼稚園も、大正11年3月に愛光幼稚園、同年8月甲陽幼稚園、昭和10年4月崇信幼稚園が開園しました。



宮川幼稚園 昭和9年に宮川、山手、岩園の各幼稚園が開設された(写真は昭和13年撮影)。



精道幼稚園 大正13年3月



私立愛光幼稚園 最初の私立幼稚園として開設された(昭和元年撮影)。

記念写真いろいろ



精道尋常小学校3年生記念写真 昭和元年



精道尋常小学校卒業記念 明治34年



村立精道裁縫学校卒業記念 明治40年



精道尋常高等小学校卒業記念 明治41年



精道尋常高等小学校卒業記念 大正4年



精道尋常高等小学校卒業記念 大正4年



村立精道裁縫学校卒業記念 大正5年



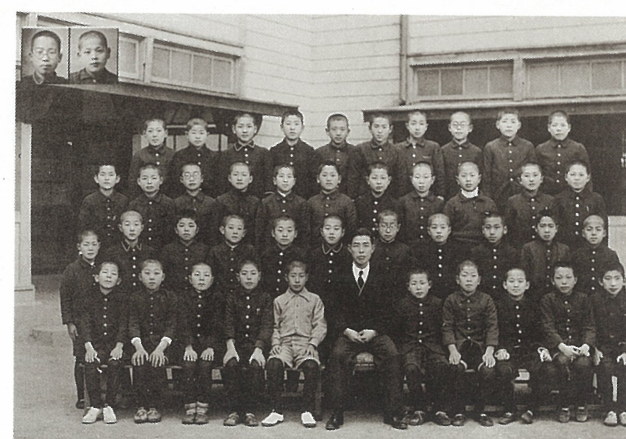
精道尋常高等小学校卒業記念 大正6年



精道尋常高等小学校卒業記念 大正6年



精道尋常高等小学校卒業記念 昭和14年



精道尋常高等小学校卒業記念 昭和14年



精道尋常小学校卒業記念 大正13年

## その他の学校

精道村時代、精道、宮川、山手、岩園の小学校のほか、中等教育機関として、昭和11年10月六麓荘に、私立芦屋高等女学校が設立されました。また、同15年には村民の懸案であった県立中学校が設立され、精道村の中等教育はいっそう充実しました。

そのほか、新教育をうたった私立児童の村小学校が大正15年2月に芦屋へ移転開設し、昭和2年8月には三田谷治療教育院も開設、同13年4月には院内に附属翠ヶ丘尋常小学校が設けられました。



芦屋高等女学校 昭和11年10月、財団法人「芦屋啓成会」が組織され、同12年六麓荘に開校(現在の芦屋大学附属高等学校)。



兵庫県立芦屋中学校 現在の県立芦屋高校、昭和15年2月設立され4月から岩園小学校の一部を仮校舎として開校。



芦屋児童の村小学校 大正14年御影町(神戸市)に設立され、翌15年芦屋字前田に移転。このときの児童数は38人。その後、昭和13年までこの地に存続した。



芦屋児童の村小学校 1教室ごとに別棟建の住宅式を採用、家庭的平和的な愛の学園を校風とした(昭和3年撮影)。



三田谷治療教育院 昭和4年撮影 精神薄弱児、病虚弱児などの保護・教育のため、三田谷啓が昭和2年に開設。同13年3月には、児童の村小学校を三田谷治療教育院付設とし、当院へ移転した。その後、私立翠ヶ丘尋常小学校と改称し、現在に至っている。写真は国道2号から学園の展覧会に集う人びと。



三田谷治療教育院附属学寮「コドモの学園」での園児の学習(昭和4年)。



児童協会の子供園遊会のようす 昭和4年 児童協会は児童の保健・衛生・教育に関する研究・普及のため大正9年、三田谷啓によって創設された。



子供園遊会のつなひき 昭和4年